

◎基本情報

事務事業名	学校づくり計画推進事業		担当部署	教育委員会 学校教育課		
総合計画体系			根拠法令 計画など	鳴門市教育振興計画 鳴門の学校づくり計画		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業 期間	開始	平成	20年度
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なんと			終期	未定
(小項目)	教育行政					
施策	1	教育行政の充実				
基本事業	4	鳴門の学校づくり計画の推進				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 「鳴門の学校づくり計画」に位置づけられている、市内の公立幼稚園、小学校及び中学校。						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	本市の子どもたちが将来にわたってより質の高い教育を受けることができるように、より良い教育環境を整えるため、「鳴門の学校づくり計画」に基づき、複式学級の解消や新しい学校づくりを推進する。						
事業計画	30年度に何を計画していたか	策定された第二期鳴門の学校づくり計画に基づき、鳴門東小において学校再編に関する意見交換会を実施する。瀬戸中学校区では、県の「徳島モデル推進事業」に沿った幼小中一貫教育の充実を図るとともに、めざす子ども像を共有し、幼小中一貫「学びのプラン」に基づいた具体的な教育活動を推進していく。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位
		複式学級のある小中学校	2	1	1	1	1	校

◎実施結果(DO)

事業実施内容	30年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	策定した第二期鳴門の学校づくり計画に基づき、計画に基づいた学校再編を推進した。鳴門東小においては、学校再編に関する意見交換会を実施した。瀬戸中学校区においては、平成29年度から受託している県の「幼小中一貫教育(徳島モデル)推進事業」を継続し、スクールワイドPBSの手法を導入して、幼小中一貫「学びのプラン」に基づいた幼小中一貫教育の本格実施を開始した。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
	指標名	29年度実績	30年度実績	元年度目標	2年度目標	3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 市教委主催の説明会の開催回数	7	0	3	3	3	回
	2 地域の会合及び学校行事等での説明会の開催回数	0	1	未定	未定	未定	回
成果指標 対象にどのような効果があつたかを示す指標	複式学級のある小中学校	2	1	—	—	—	校
	目標達成率(実績/目標)	100.0		—	—	—	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況		計画どおり			

(千円)

財源内訳	平成30年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額		0	500	0	0	5	505
		補正予算額		0	0	0	0	0	0
		繰越予算額		0	0	0	0	0	0
		全体予算額		0	500	0	0	5	505
		決算額		0	500	0	0	5	505
		繰越額		0	0	0	0	0	0
	人件費		正規職員(7,321千円/人)	臨時職員(2,125千円/人)	総人件費		総事業費		
		1.0	0.0	7,321		7,826			

事業費推移	年度	29年度決算	30年度決算	元年度	2年度	3年度
	事業費	2,272	505	505	未定	未定
	うち一般財源	1,772	5	5	未定	未定
	人件費	7,234	7,321	7,321	未定	未定
	総事業費	9,506	7,826	7,826	未定	未定

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		保護者や地域等への意見交換会を開催し、鳴門東小学校の再編についてご意見をいただき、教育委員会としての考えを説明することができた。
	効率性	B:概ね効率的だった		参観日に意見交換会を設定したことで、多くの保護者や地域の方々にご参加いただくことができた。
②成果に対する評価	指標名	複式学級のある小中学校		適正規模への再編を行うためには、保護者・地域の理解を得ることが先決であり、そのための協議を重ねている。
	目標	1	校	
	実績	1	校	
	評価	B:概ね目標を達成できた		
③総合的な評価		B		瀬戸中学校区においては、幼小中一貫指導プランを具現化するための手立てとしてスクールワイドPBSを導入したことで、幼小中が足並みを揃えて取組を進めることができた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	第二期鳴門の学校づくり計画に基づいて、学校再編を進めていく。鳴門東小学校にかかわる学校再編について、保護者の理解が得られるよう、丁寧な説明、意見交換を進めていく必要がある。 状況により別途検討するとしていた公立幼稚園の再編実施計画について、「鳴門市就学前教育・保育のあり方に関する審議会」における協議内容を踏まえながら、進めていく必要がある。 瀬戸中学校区においては、平成29年度から受託している県の「小中一貫教育(徳島モデル)推進事業」を継続し、スクールワイドPBSの手法を導入して、幼小中一貫「学びのプラン」に基づいた幼小中一貫教育の本格実施を開始した。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	R1年度	第二期鳴門の学校づくり計画に基づき、鳴門東小において学校再編に関する意見交換会を実施する。瀬戸中学校区では、県の「徳島モデル推進事業」に沿った幼小中一貫教育の充実を図るとともに、めざす子ども像を共有し、幼小中一貫「学びのプラン」に基づいた具体的な教育活動を推進していく。 「鳴門市教育振興計画審議会」を立ち上げ、「鳴門市就学前教育・保育のあり方に関する審議会」における協議内容を踏まえながら、今後の公立幼稚園のあり方についての検討を進める。			
	R2年度	第二期鳴門の学校づくり計画に基づき、鳴門東小において学校再編に関する意見交換会を実施する。瀬戸中学校区では、県の「徳島モデル推進事業」に沿った幼小中一貫教育の充実を図るとともに、めざす子ども像を共有し、幼小中一貫「学びのプラン」に基づいた具体的な教育活動を推進していく。 「鳴門市教育振興計画審議会」において、今後の公立幼稚園のあり方についての審議を進め、公立幼稚園の再編計画の具体化を図る。			